

## 2019年度 特別養護老人ホーム雅 事業計画

基本理念	「安心で心地よい暮らしを支え続けます」
基本方針	ご入居者お一人おひとりの時間と空間を大切に 日々の生活を楽しめるよう支援します。
運営方針 (職員行動指針)	「私たちが大切にすること」 1.入居者さまの個性を受けとめ、お一人おひとりの尊厳を守ります。 2.明るく笑顔で、心をこめて寄り添います。 3.仲間とともに喜び、高め合える職場を作ります。 4.地域社会との交流を積極的に実践します。
年度目標	1.入居者おひとり、お一人に合わせたケアができるよう努めます。 2.終末期のケアができるよう、学ぶとともに環境を整えます。 3.チームケアを確立させるため、業務内容の見直しと処遇改善に努めます。 4.社会資源としての役割を果たすため、満床稼働を目指します。

### 【具体的方策】

- (1) 介護力、アセスメント力の向上を目指し、個別ケアを実践するため、
  - ・24時間シートの活用で、個々の利用者の生活リズムが把握できるようにします。
  - ・24時間シートを活用することで、新入職者への入居者のケア指導に役立てます
  - ・24時間シートで介護ケア計画を立てることで、個別ケアの向上に役立てます。
- (2) 看取りの研修体制を構築し、入居者さまの終末期の生活を守るため、
  - ・研修計画を立て、より多くの職員が参加できるよう、繰り返し学ぶ機会をつくります。
  - ・終末期を迎えるためのケア基準を見直します。
  - ・終末期のケアができる環境を整備します。
- (3) 職種別に業務を見直すことで、専門性を発揮し、働きやすい職場環境をつくるため、
  - ・それぞれ職種の業務（課業 要件書）を見直します。
  - ・目標管理シートの理解と目標が個々に設定できるようにします。
  - ・多職種合同のカンファレンスを開催することで、情報共有をできるようにします。
  - ・働き方改革関連法の有給取得5日間の時季指定取得を遂行します。
- (4) 社会資源としての役割を果たすため、
  - ・残り1ユニット(10床)をオープンできるよう、人材確保に努めます。
  - ・待機者確保のため、相談課の充実を図り、雅の情報を発信し続けます。
  - ・より一層、地域から信頼され、選ばれる施設となることを目指します。

### ※「理念・方針・目標」に向かうための「雅コンセプト」

「笑顔・思いやり・心のつながりを大切に」

ご入居者、ご家族、地域の皆様、職員一人ひとりの尊厳を守るため「陽だまり」のような住まい、環境づくりをしていきます。

2019年度 各部署・各ユニット目標

部署・ユニット名	担当	年度目標
介護課(1.2階)	フロアリーダー 新井恵理	入居者ご本人が望む生活に近づけるため、24時間シートの活用を進める。職員との話す時間を確保し、早期の対応、問題解決に努める。
さくら	ユニットリーダー 中村大海	入居者の生活スタイルに寄り添い、職員間の連携のもと、一人一人に適した介助方法を考える。そして、より良いユニットの環境作りを行う。
すいせん	ユニットリーダー 渡邊実香	一人一人の生活パターンを把握し、落ち着いた生活ができるような空間作りを行う。
あやめ	ユニットリーダー 田島 薫	入居者の話しに耳を傾け、笑顔溢れるアットホームな快適な環境作りを目指す。
あじさい	ユニットリーダー 中澤智美	入居者が安心して過ごせるよう、生活リズムを把握し、一人一人に寄り添った介助を実践する。
ひまわり	ユニットリーダー 塚田直希	入居者に家庭で生活していた様な雰囲気作りの空間と、職員とのふれあいの関係性を作れる様なユニットを目指す。
介護課(3階)	フロアリーダー 羽鳥和伸	24時間シートを活用し入居者が安心し、その人らしい生活が出来るように支援していく。
つばき	ユニットリーダー 渡邊若菜	入居者の出来る事を把握し、声を掛け見守る。生活リズムに合わせ一人ひとりに寄り添う。
ゆり	ユニットリーダー 栗木慎一	入居者が安心して暮らせるよう、生活の環境を整えていくことに心がけていく。
うめ	ユニットリーダー 高 博之	入居者の心に寄り添い、快適で笑顔があふれる生活を。ご家族には安心、安全を最後までお届けする。
あさがお	ユニットリーダー 羽鳥和伸	入居者個々の生活パターンを見える化し、各職員が情報を共有することで、入居者が安心した生活を送れるよう支援する。
看護課	看護リーダー 杉山純子	雅で看取り期を安心して過ごしていただけるよう、スタッフの研修をしていくとともに、多職種間でも看取り期のケアが共有していけるよう努める。
栄養課	管理栄養士 新井 充	委託業者と連携を密にし、安全かつ質の高い食事提供を目指す。個々の栄養状態を把握し、適切に対応する事で栄養状態の維持・改善に努める。取得可能な加算を実行していく。
リハビリ課	理学療法士 坂本恵美子	入居者様の身体機能やADLを把握し、個別機能訓練計画書を作成する。多職種と連携をすることで、現在の状態維持を含め、安心した生活を行えるよう介入をする。
相談課	介護支援専門員 石井とみ江	入居者の状態把握に努め適切な施設サービス計画書を作成する。他職種及び家族との連携を図り、入居者が安心して心地よい生活ができる場所にする。
総務課	事務職員 田村徹也	各課の業務が円滑に進むように施設整備やフォローをしていく。毎月の請求業務を正確に行い、適切な運営を心がける。

2019年度 相談課 取り組み計画

取り組むべき課題	課題に対する具体的方策	アクションツールとプラン
<p><b>【待機者確保・空床SS利用】</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>稼働率アップへ繋げる</p>	<p>①入院ベッドの活用⇒稼働率アップ</p> <p>②居宅介護支援事業所への訪問、連絡</p> <p>③グループ内待機者については、情報共有をこまめに行い、他法人への流出を防ぐ</p> <p>④行田総合病院入院者の情報収集</p> <p>⑤100床オープンに向けて、待機者の実調</p>	<p>①② SS利用者の名簿を活用 SS利用可能情報を連絡する 居宅CMとの信頼関係強化</p> <p>⇒ ハートフル・心春との打合せと確認</p> <p>⇒ MSWへの連絡と調整 待機者確保とSS利用に繋げる</p> <p>⇒ 判定会議後、随時実調を行い、速やかな入居に繋げる</p>
<p><b>【地域との連携】</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>壮幸会地域包括支援センターと協力し地域へ発信</p>	<p>①地域の社会資源としての取り組み 「雅サロン」の実施継続</p> <p>「雅サロン」は地域の高齢者やご家族、専門職の他、どなたでも参加できる「集いの場所」となれるように努める</p>	<p>⇒ 「雅サロン」チラシの配布 行田市内外(近郊)への周知と口コミで拡大に繋げる</p>
<p><b>【入居者・家族との信頼構築】</b></p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>施設の顔として、相談しやすい窓口(電話)対応に努める</p>	<p>①入居相談・申込の対応で、入居者の背景全体を理解し、安心できる環境に繋げる</p> <p>②入居者の生活を理解し、事故報告等の連絡を速やかに行う</p> <p>③入居者や家族からの相談に、向き合う姿勢を大切にする</p>	<p>⇒ 契約書・重要事項説明書・料金表の理解を深め、明確な説明を行う</p> <p>⇒ 個々の生活状況と事故内容及び対策の説明ができるよう情報収集を行う</p> <p>⇒ 苦情や意見を受け止めて、対応と対策の相談(カンファレンス)を実施する</p>
<p><b>【法令遵守の取り組み】</b></p>	<p>①埼玉県優先入所指針に沿っての書類整備</p> <p>②身体拘束適正化検討委員会の運営</p> <p>③施設サービス計画書の作成と課題分析</p> <p>④介護保険法の理解と対応</p>	<p>⇒ 入居検討委員会資料他、記録の整備</p> <p>⇒ 委員会の開催と記録の整備</p> <p>⇒ 多職種との連携で入居者の生活の質向上に繋げる</p> <p>⇒ 契約書類、料金表の変更及び取り交し</p>
<p><b>【入居者の充実した暮らし】</b></p>	<p>①穏やかな日常が送れる環境づくり</p> <p>②笑顔を引き出すケア、楽しみの支援</p> <p>③入居者の相談窓口になる</p>	<p>⇒ ICFの考え方：自分以外はすべて環境より良い環境を作るために、職員同士協力できるよう働きかける</p> <p>⇒ 日常の声かけ及び季節の行事やアクティビティへ参加できるよう働きかける</p> <p>⇒ ユニット職員以外で話ができる場所として相談課が対応できるようにする</p>

## 2019年度 栄養課取り組み

実施内容	目標と経過
<p>■ 非常・災害時における食事提供マニュアル作成 備蓄食品の使用法を始め、食事提供に関するあらゆる事に対応したマニュアルを作成します。</p>	<p>4月中に完成することを目標とします。マニュアル内容を各部署に周知し、誰もが対応出来る様にしたいと思います。 その後も定期的な見直し等を実施する事で、より最適なマニュアルにしていきます。 給食委員会で作成段階の経過報告や修正時には変更点などを随時連絡していきたいと思っています。</p>
<p>■ 職能要件書の見直しと作成 雅の栄養課業務に適した職能要件書に見直し、作成します。</p>	<p>4月中に完成することを目標とします。現在使用している要件書の内容を確認し、雅の業務として該当しない課業を省きます。日常の業務内容、又はすべき業務を課業として追加したいと思っています。</p>
<p>■ 栄養補助食品の活用 褥瘡リスク者や低栄養、少食の方に栄養補助食品の使用を取り入れていきます。</p>	<p>栄養スクリーニングやアセスメント、委員会などで、栄養補助食品使用の必要性を見極め、必要と判断した際には、家族様に使用の同意をもらいます。使用後の状態変化を評価し、継続使用か、中止かを再検討します。家族様の自費となるため、使用した個数を管理し、取りこぼしの無いように請求します。</p>
<p>■ おやつレクを実施 前年度に引き続き、おやつレクを実施します。</p>	<p>協力ユニット単位で、年に1回ずつ、おやつレクを実施します。年間の予定表を作成し、日時や内容等の詳細をユニットリーダーと検討し進めていきます。企画書、実施書を作成し、記録に残していきます。</p>
<p>■ 加算の取得 栄養ケアマネジメント加算と療養食加算、口腔衛生管理体制加算に加え、平成30年度から始めた、経口維持加算（Ⅰ）の加算取得を継続していきます。</p>	<p>栄養ケアマネジメント加算と療養食加算、口腔衛生管理体制加算は引き続き、取りこぼしの無いよう、継続していきます。経口維持加算（Ⅰ）は今後も算定条件を満たしている方を抽出し、必要な処理を行い、加算の取得を実施していきます。</p>
<p>■ 郷土料理と行事食の継続 郷土料理と行事食を提供していきます。</p>	<p>現在実施している、行事食や郷土料理を継続していきます。提供前には、1Fフロアやユニットにポスターを掲示し、入居者様のみならず、家族様や面会者にもお知らせ出来るようにします。郷土料理に関しては、日本列島と料理の写真を用いて、これまでに提供した県と料理が分かる様な掲示物を作成していきます。</p>

2019年度 郷土料理・行事食予定

月	郷土料理	行事食	特別おやつ
4月	○ (県：未定)	お花見御膳	誕生日祝いおやつ
5月	○ (県：未定)	こどもの日 (散らし寿司)	誕生日祝いおやつ
6月	○ (県：未定)	手打ちそば (実演)	誕生日祝いおやつ
7月	-	七夕 (七夕そうめん) 土用丑の日 (うなぎ)	誕生日祝いおやつ
8月	○ (県：未定)	お祭り (雅祭り弁当) お盆 (おはぎ)	誕生日祝いおやつ
9月	-	敬老の日 (祝い膳) お彼岸 (おはぎ) 十三夜 (月見うどん)	誕生日祝いおやつ 十五夜まんじゅう
10月	○ (県：未定)	運動会 (運動会弁当) 十三夜 (月見丼)	誕生日祝いおやつ 運動会 (パン取り競走のパン)
11月	○ (県：未定)	秋の味覚料理	誕生日祝いおやつ
12月	-	クリスマス (クリスマスランチ) 大晦日 (年越しそば)	誕生日祝いおやつ クリスマスケーキ
1月	-	お正月 (お節料理) 七草粥	誕生日祝いおやつ
2月	-	節分 (節分料理) にぎり寿司	誕生日祝いおやつ バレンタインおやつ
3月	○ (県：未定)	ひな祭り (ひな祭り御膳) お彼岸 (ぼたもち)	誕生日祝いおやつ ホワイトデーおやつ

※郷土料理は、随時ポスター掲示しています。県とメニューに関しては、献立作成時に検討していきます。

## 2019年度 雅 行事予定・クラブ活動

月	行 事	雅カフェ	クラブ活動
4月	お花見	春)さくらカフェ	アクティビティクラブ
5月	ネイルサロン		絵手紙・アクティビティクラブ
6月	そば打ち実演		アクティビティクラブ
7月	七夕まつり	夏)七夕カフェ	アクティビティクラブ
8月	雅祭り		絵手紙・アクティビティクラブ
9月	敬老会		アクティビティクラブ
10月	運動会	秋)紅葉カフェ	アクティビティクラブ
11月	ネイルサロン		絵手紙・アクティビティクラブ
12月	クリスマス会		アクティビティクラブ
1月	書初め	冬)新春カフェ	アクティビティクラブ
2月	節分(豆まき)		絵手紙・アクティビティクラブ
3月	スポーツ大会		アクティビティクラブ

## 2019年度 雅全体の取り組み計画(詳細)

項 目	内 容	効 果
アクティビティクラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3週火曜日</li> <li>・1階フロアもしくはユニット内にて実施</li> <li>・レクリエーションや創作を各月にて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニット内だけでなく、他ユニットの方との交流を深める。</li> <li>・体を動かす事や創作にて手先を使うことにより、身体機能や認知機能低下を予防目的として楽しんでもらいながら実施する。</li> </ul>
雅サロン	第4土曜日 地域交流広場 10時～11時30分 参加費100円 地域の方へ 解放 運動・井戸端会議・一寸良い企画 お茶のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の高齢者やご家族、専門職との交流「集いの場所」として解放し、日常から少し離れ、ゆったりした時間を過ごしてもらおう。</li> <li>・おしゃべりをする事でストレスを最小とすることができる</li> </ul>
とくし丸	移動スーパー 毎週木曜日10:30～11:00 雅駐車場にて オープン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物ができることで欲求を満たすとともに、活性化につなげる。</li> <li>・地域との交流（コミュニケーション）をとることで 社会参加ができる。</li> </ul>

2019年度 特別養護老人ホーム雅 委員会

委員会	委員長		開催日時	
入居判定委員会	生活相談員	石川 ゆみ子	第3水曜日	16:00
研修委員会【職員研修】	フロアリーダー	新井 恵里 羽鳥 和伸	第4金曜日	14:00
事故対策委員会 身体拘束適正化検討委員会	ケアマネ 生活相談員	石井 とみ江 石川 ゆみ子	第4火曜日	14:00
感染症対策委員会 褥瘡対策委員会	看護課	杉山 純子	第2火曜日	14:00
防災・安全対策委員会 衛生委員会	防火管理者 衛生管理者 産業医	田村 徹也 鈴木 厚子 川嶋 賢司	第1または第2金曜日	14:00
給食委員会	管理栄養士	新井 充	第3金曜日	14:00

2019年度 特別養護老人ホーム雅 会議予定

会議名	開催日時	構成メンバー
雅会議(運営会議)	第1火曜日 14:00	フロアリーダー・ユニットリーダー 相談課・リハビリ課・栄養課・看護課 総務課・施設長
ユニットリーダー会議	第2、第3：火、水曜日 14:00	各ユニットリーダー・フロアリーダー 施設長
フロアリーダー会議	第4木曜日 17:00	フロアリーダー・施設長
ユニット会議	各ユニットで調整	各ユニット職員

## 2019年度 施設内研修計画

月	研修内容	実施日 (予定)	担当
4月	○法令遵守・プライバシー保護・個人情報保護について ○接遇・マナーについて	第4金 14:00	研修委員会
5月	①事故防止研修：介護技術（移乗介助と腰痛予防）	第4金 14:00	事故対策委員会 理学療法士
6月	①感染症及び食中毒発生の予防について （吐物処理の実技演習）	第4金 14:00	感染症対策委員会
7月	○健康管理・医学知識について（医療に関する教育研修） ○看取り介護について	第4金 14:00	看護課 研修委員会
8月	○認知症の基礎知識とケア ○防犯対策点検について	第4金 14:00	研修委員会
9月	②感染防止対策（ノロウイルス・インフルエンザ等） ○ユニットケアについて	第4金 14:00	感染症対策委員会 研修委員会
10月	①虐待防止・身体拘束廃止について ○ストレスマネジメント研修	第4金 14:00	身体拘束適正化検討 委員会
11月	○事故発生等緊急時の対応に関する研修 ①24時間シートについて	第4金 14:00	事故対策委員会 研修委員会
12月	○服薬介助・誤嚥防止研修 ②虐待防止・身体拘束廃止について	第4金 14:00	事故対策委員会 研修委員会
1月	②事故防止研修：介護技術（浴室で実地研修）	第4金 14:00	事故対策委員会
2月	○褥瘡と栄養（その発生メカニズムと予防法） ○ポジショニング（必要性和補助具について）	第4金 14:00	褥瘡対策委員会 理学療法士
3月	○防災及び非常災害時対応について	第4金 14:00	防災・衛生委員会